

今頑張らないで、
いつ頑張る

昨年、私にとって思いがけず勉強の場をいただきました。室蘭・登別・伊達三市合同国内派遣研修に参加できたことです。

今まで講習を受けボランティアに参加しておりまして。しんた21が活動の場であり、時には小学校や幼稚園、男性料理教室にと参加させていただきました。

全国の地域で活動している方々と嵐山町（埼玉県）ですてきな出会いを得て、テーマといい、内容といい、今私にとって関心のあることばかりでした。「一人ひとりの生き方がし」「目指そう！生涯青春」などなどでした。

この度の学んだこと、心にしつかりとどめ、地域社会活動に生かしてゆきたいと思います。色んな事が目につくようになりまし



▲登別市男女共同参画計画検討委員会

前略2002年の私

全国大会を経験して



新生町／14歳 櫛引祐輔さん

僕たち、緑陽中学校サッカー部は「全道優勝・全国ベスト4」を目標に毎日厳しい練習を積んできました。

一昨年の中体連では、先輩方と共に胆振東部大会、胆振大会を勝ち抜き、初の全道大会出場という切符を手に入れました。

昨年の全道大会では高いレベルをもったチームと戦い抜き、目標の一つである全道優勝まであと一歩というところまで勝ち進みました。決勝戦、釧路景雲中学校との戦いでは、チーム全員が一つとなり、全道優勝のために必死で戦い抜きましたが、結果は惜しくも敗れてしまいました。しかし、全道準優勝という結果を残し、念願の全国大会出場を果たすことができました。これは、チーム全員の力がひとつになった証拠だと思います。

全国大会では、よりレベルの高いチームが全国から集まり、雰囲気も違い、北海道代表としての誇りを持って戦いました。結果は、1回戦で負けてしまいましたが、全国のレベルを肌で感じる事ができ、貴重な経験となりました。そして今、僕は、全道・全国大会を経験し、チームが一つとなり「絶対に勝つ」という強い気持ちをもつことが大切だと深く感じています。

これからは、今まで以上に集中した中で練習し、先輩たちが果たせなかった「全道優勝、全国でベスト4」を必ず成し遂げたいと思います。

夫婦のあいさつ

2002年は、私たち夫婦にとって結婚49年になります。49年は長いようで、短いような私たちなりの歴史があり、一言ではとても言い表わせないこ

た。

登別市男女共同参画計画にかかる検討委員募集、おにたま講座「ひとの感覚世界形成のメカニズム／脳科学」これなど今の私にピッタリ。

2002年は、早々に婦人短大のIT講習会があり、今から楽しみ。

ボランティア活動している夫の会のおたよりをお手伝いできたらいいなあと思っております。

今頑張らないで、いつ頑張ると……2002年は、自分にとってどんな年になるのかしらと夢見ている私です。

(新生町／65歳 熊本淳子さん)

とがたくさんありました。

現在は、子どもたちも独立して、二人だけの静かな生活です。

昨年は、アメリカで同時多発テロがあったり、アフガニスタンで戦争になったり、世界中で異変が多く悲しい年でした。

日本も不景風の強く吹く中で、若い人も老いた人も暮らさずらい毎日になってきています。でも私は主人と二人で単調ながら幸せだと思つて生活をしております。もう少し何か楽しい変化があると、なお、張り合いがあるのではと考えましたが、特別なアイデアも思い浮かびません。

主人は、まれにみる無口人間で、私は反対に、おしゃべり大好き人間なのです。それで主人との対話が少しでもふえるように、夫婦で6個のあいさつの提案をしました。

朝起きたら「おはよう」、ご飯をい

ただく時は「いただきます」、食後は「ごちそうさま」、出掛ける時には「行ってくるよ」、帰ったら「ただいま」、夜寝る時は「おやすみ」、この6つの言葉は、普通のご家庭では、あたりまえのことでしょうが、私たちに特別な話題も変化もないので、時々

は「今朝はおはようのあいさつを忘れたね」などと言いながら、このあいさつは、私たちに穏やかな雰囲気を作りだしてくれています。

健康にも充分気をつけながら世界の平和を願いつつ少しでも楽しい2002年を迎えたいと思っております。

(幌別町／池田悦子さん)

たくさんの投稿、ありがとうございます。掲載させていただきます。『手紙』は順不同です。